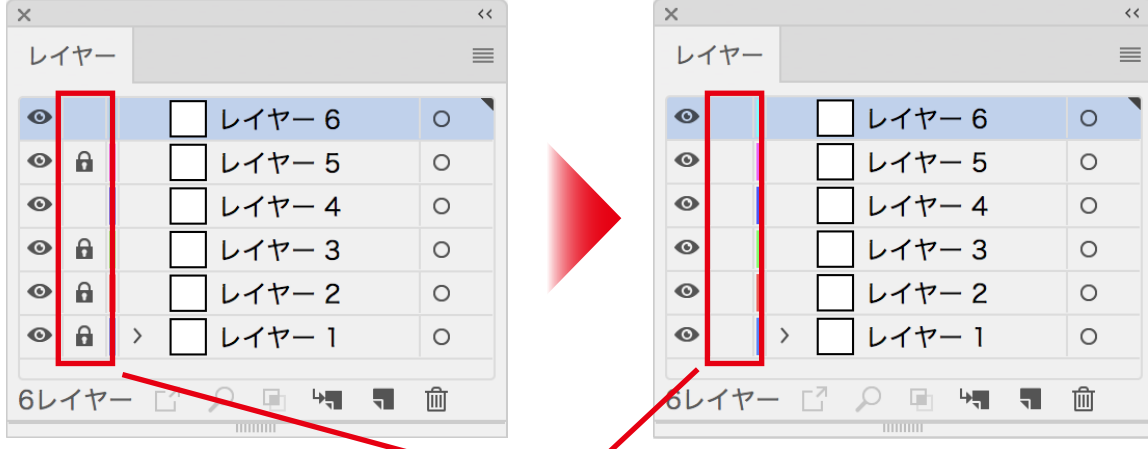


フォントのアウトライン化

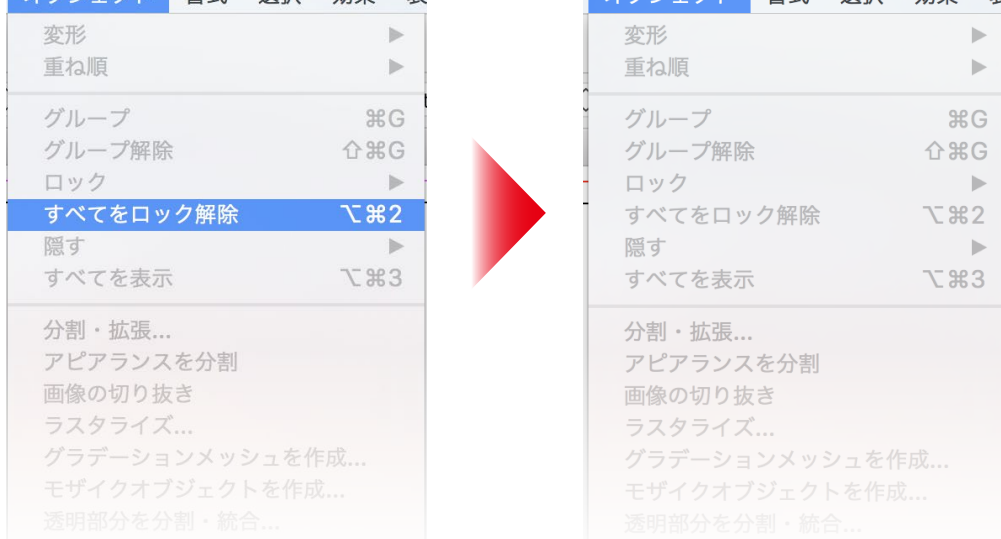
①レイヤーとオブジェクトのロックを全て解除します。

レイヤーのロック解除



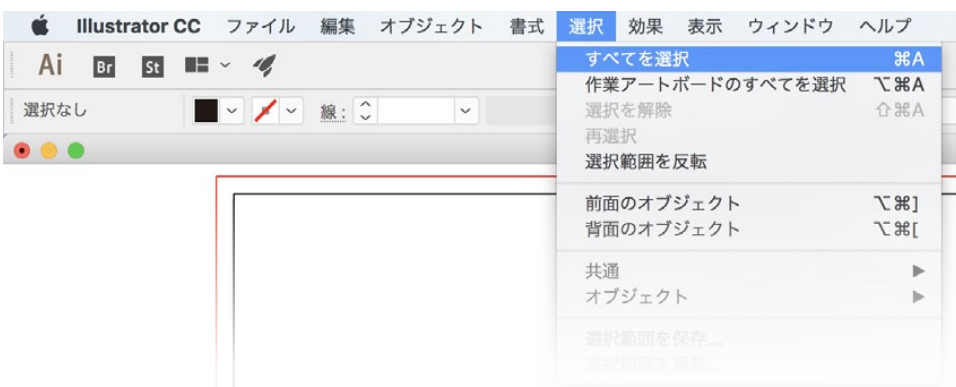
レイヤーパレットで鍵がない状態にします。

オブジェクトのロック解除

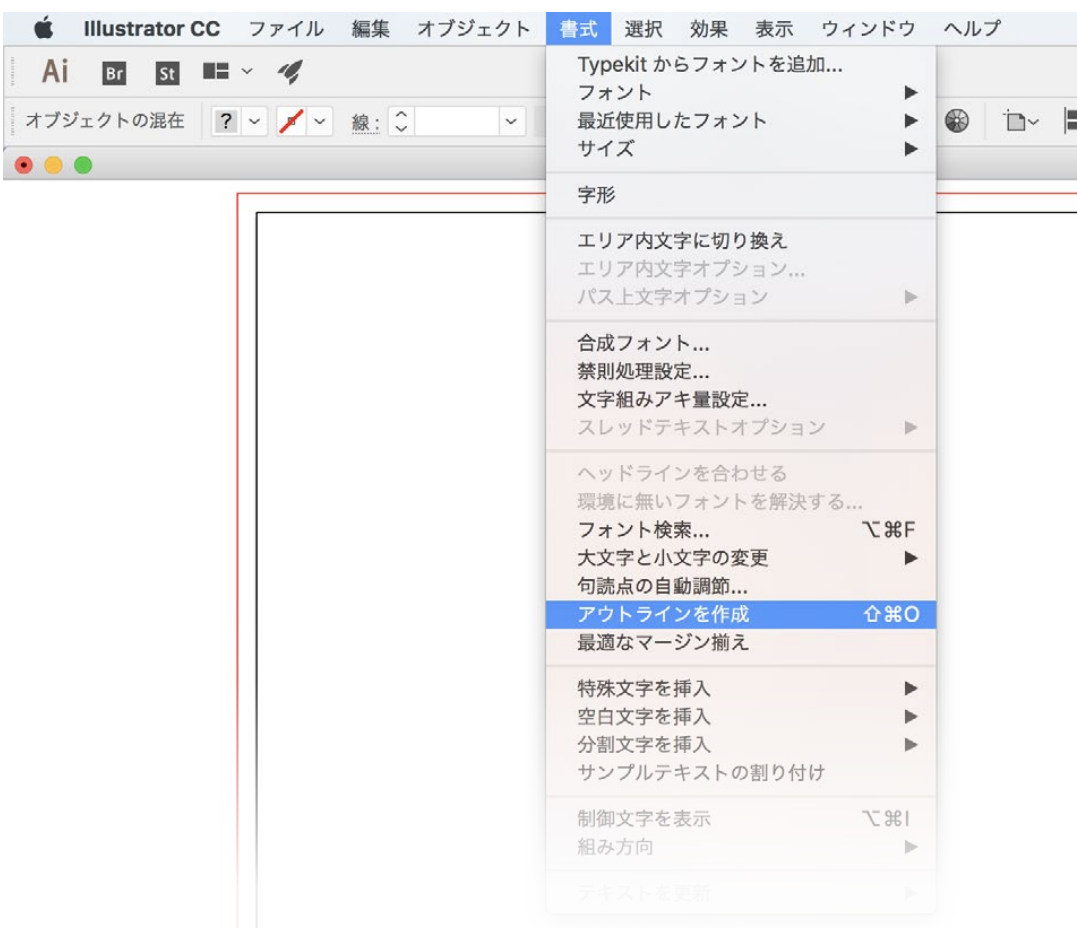


オブジェクトメニューからすべてをロック解除を選択します。
ロックがかかったオブジェクトがない場合は選択できません。

②選択メニューからすべてを選択を選択します。



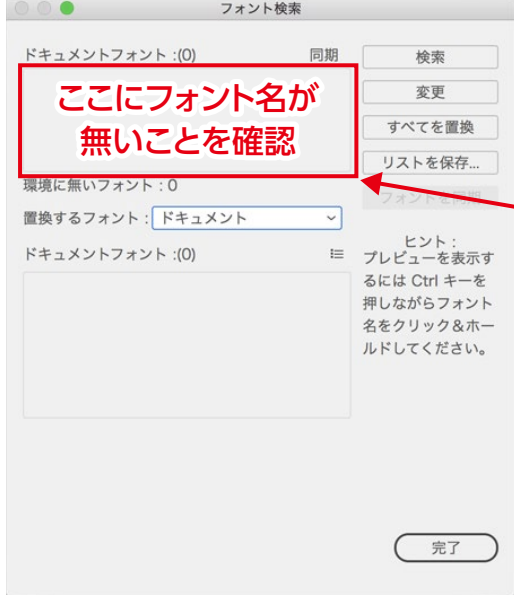
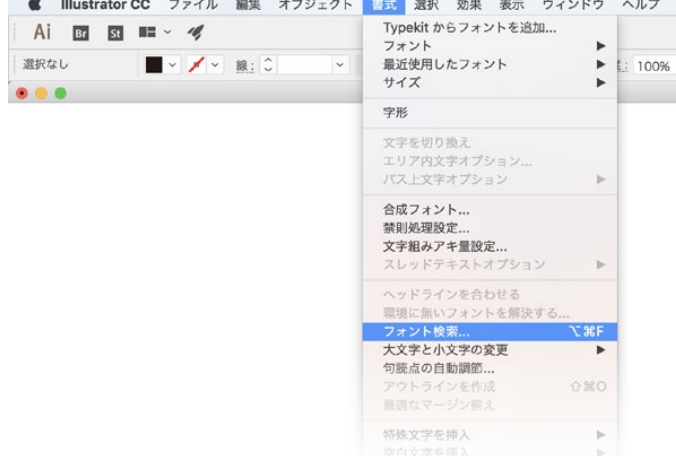
③書式メニューからアウトラインを作成を選択します。



注意! フォントのアウトラインを作成するとテキスト編集ができなくなります。
アウトライン作成後は上書き保存をせず、別名保存を推奨しております。

アウトライン作成後の確認

書式メニューから
フォント検索を選択します。



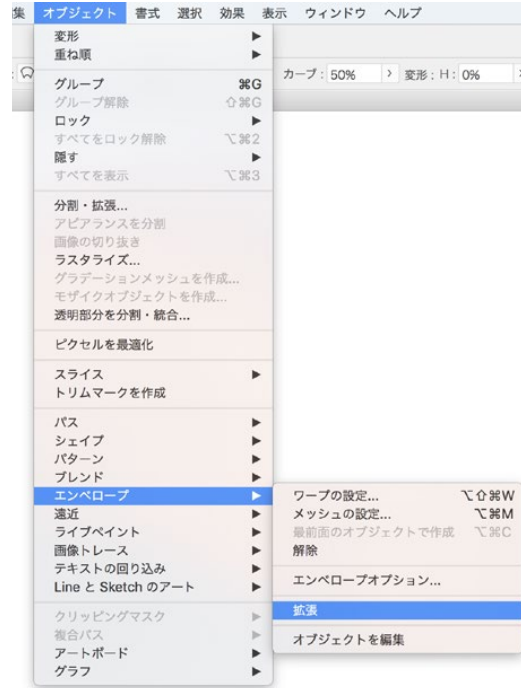
ドキュメントフォントに、フォント名が表示されていなければ
すべてのフォントのアウトラインが作成されています。
データにまだアウトラインが作成されていないフォントが
存在していると、この欄にフォント名が表示されます。

※IllustratorのバージョンがCS6以前の場合は
一部の機能を使用すると(下記参照)フォント検索で
フォント名が表示されないのをご注意ください

上記の書式→アウトラインを作成では フォントがアウトライン化されない場合

case1 エンベロープ機能を使用している場合

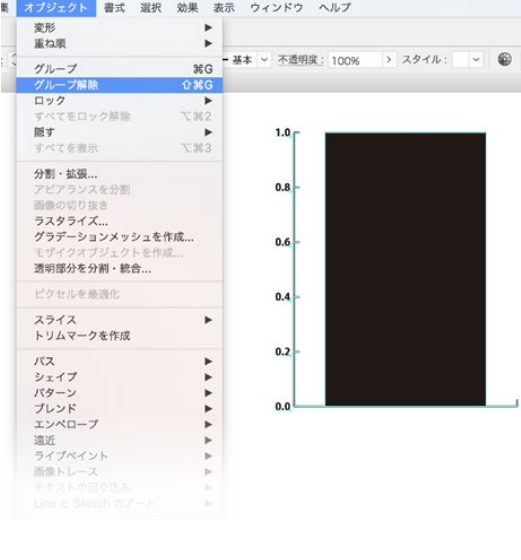
フォントにエンベロープ機能を使用すると、
そのままではアウトラインが作成できません。
エンベロープのオブジェクトを選択して
オブジェクトメニューから
エンベロープ→拡張 で
アウトラインを作成してください。



case2 グラフツールを使用している場合

グラフのメモリ部分の数字はそのままでは
アウトラインが作成できません。
グラフのオブジェクトを選択して
オブジェクトメニューから
グループ解除をしてから
アウトラインを作成してください。

※IllustratorのバージョンがCS6以前の場合は
フォント検索でフォント名が表示されないの
でご注意ください



case3 シンボルやパターンに登録した フォントの場合

登録したシンボルやパターンに含まれている
フォントは、そのままではアウトラインが作成
できません。
シンボルやパターンを選択して
オブジェクトメニューから分割・拡張を
してからアウトラインを作成してください。

※IllustratorのバージョンがCS6以前の場合は
フォント検索でフォント名が表示されないの
でご注意ください

